

ライブラリーニュース

川口市立高校 No.6

2024年度 10月号

3年次図書委員

暗い時間が長くなってきていますね。暗いときに本を読むと、とても良い気持ちになれるので、おすすめです。

『小説 あらしのよるに』 きむら ゆういち 作 小学館文庫 刊



嵐の夜に出会ったオオカミとヤギが、仲良くなっていく話です。同名の絵本がありますが、それとは違う結末が書かれています。生物の種を考えると決して関われないような二匹が、共通点を持ち、同じ群れの仲間よりも仲良くなっていくのが、とても興味深いです。きむら ゆういち さんの文の書き方が、私は好きで、まるで映画を見ているかのような感覚で読めました。

『おおきな木』

シェル・シルヴァスタイン 作 絵

村上 春樹 訳

あすなろ書房 刊



自分を犠牲にして他人に何かをしてあげる、という人を見たことがありますか。私はそのような人は、ただ損をしているだけなのではないか、と考えたことがあります。この本に登場する「木」は、まさにそのような存在です。そしてこの「木」は、どうやらそれで幸せらしいのです。不思議ですね。みなさんもこの本を読んで、不思議な体験をしてみてください。

もう10月か、と思っています。時間が過ぎるのは早いですね。時間を大切にしようと思ったとき、それを勉強に費やすのは良い考えです。しかし、物語を読むのも、有意義な使い方だと思います。

表紙の画像は出版社の許諾を得て掲載しています。